

授業科目 情報社会と倫理

【担当教員名】 近藤 正紀	対象学年	1	対象学科	情報
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○
【概要・一般目標：GI0】 情報技術の進展が社会に及ぼす影響について主に技術的側面から概観する。また、情報を利用する立場および情報を発信する立場に立ったとき、どう行動するべきかを倫理学の観点から考え、法律との関連についても理解する。  本講義は、講義とケーススタディを通じて情報社会における倫理について理解を深めることを目的とする。				
【学習目標・行動目標：SBO】 情報社会で適正な活動を行うための基礎となる考え方と態度を理解する。 情報社会における、各個人の価値観を確立する。				
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号
1	情報社会の特徴と問題			
2	情報倫理とは何か			
3	情報倫理と社会規範			
4	個人の参加と行動規制			
5	医療と情報の関わり			
6	情報社会と個人の関わり（1）			
7	情報社会と個人の関わり（2）			
8	情報の技術的問題（1）			
9	情報の技術的問題（2）			
10	情報の法律的問題（1）			
11	情報の法律的問題（2）			
12	情報の法律的問題（3）			
13	情報の倫理的問題（1）			
14	情報の倫理的問題（2）			
15	まとめ			
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		インターネット社会を生きるための情報倫理	情報教育学会・情報倫理教育研究グループ	実教出版 2013・400円＋税
参考書		医療情報	坂井孝彦郎	丸善出版 2013・5,800円＋税
		スマートフォン時代の法とルール	清野正哉	中央経済社 2011・2,400円＋税
		情報倫理	清野正哉	中央経済社 2009・2,400円＋税
その他の資料				
【評価方法】 試験、出席状況、レポートの成績を総合して評価する。		【履修上の留意点】 参考図書は随時、講義時に指定する。 必要な資料を講義中に配布する場合もある。 シラバスの各回の内容については変更になる可能性があるため、その場合は講義開始時に変更後のシラバスを配布する。		